

ブドウの苗木を安定して生産するための マニュアルを作成しました



図1 作成したマニュアル 「接ぎ挿し法」編（左） 「緑枝接ぎ法」編（右）

開発のねらい

ブドウの苗木は他の果樹苗木に比べて生産が難しいため、苗木業者の慣行的な生産方法（接ぎ挿し法）について、改善点をまとめたマニュアルを作成しました。また、慣行法に比べて生産が安定する新たな方法（緑枝接ぎ法）を開発しました。

新技術の概要

- 接ぎ挿し法のマニュアルでは、挿し床の温度管理や圃場定植後の水分管理についての改善点を記載しています。これらを改善することによって成苗率が従来より約2割向上しました。
- 緑枝接ぎ法のマニュアルでは、年間の栽培管理や作業手順について記載しています。緑枝接ぎ法は、接ぎ木後の活着や生育が接ぎ挿し法より良好なため、成苗率は約80～90%で、生産効率が高いのが特徴です。

活用場面

作成したマニュアルは、苗木業者及びブドウ生産者向けに、下記のアドレスで公開しています。

<http://www.pref.okayama.lg.jp/page/923035.html>